## ○海上保安庁告示第八号

航路標識の位置その他の変更について、航路標識法（昭和二十四年法律第九十九号）第六条の規定により、次のように告示する。

平成二十七年二月三日

海上保安庁長官　佐藤　雄二

名称　女川港北仮設灯浮標
位置
所在地　宮城県女川港（四子ノ埼灯台の西方約五・四キロメートル）
北緯　三八―二六―一〇
東経　一四一―二七―五三
変更した事項　位置
変更年月日　平成二十六年九月二十八日
記事　一時変更

名称　女川港南仮設灯浮標
位置
所在地　宮城県女川港（四子ノ埼灯台の西方約五・六キロメートル）
北緯　三八―二六―〇二
東経　一四一―二七―五一
変更した事項　位置
変更年月日　平成二十六年九月二十八日
記事　一時変更

名称　金浦港沖防波堤灯台
位置
所在地　秋田県金浦港（沖防波堤外端）
北緯　三九―一五―一五
東経　一三九―五四―二九
変更した事項　光度
光達距離　五・〇海里
高さ　地上から構造物の頂部まで八・三メートル　平均水面上から灯火まで一四メートル
変更年月日　平成二十六年九月三十日

名称　荻浜灯台
位置
所在地　宮城県石巻市（荻浜）
北緯　三八―二二―二一
東経　一四一―二六―一二
変更した事項　光度
光達距離　五・〇海里
高さ　地上から構造物の頂部まで九・一メートル　平均水面上から灯火まで三七メートル
変更年月日　平成二十六年九月三十日

名称　巾着島灯台
位置
所在地　宮崎県宮崎市（巾着島）
北緯　三一―四四―二一
東経　一三一―二八―二五
変更した事項　光度
光達距離　七・五海里
分弧　削除
高さ　地上から構造物の頂部まで一一メートル　平均水面上から灯火まで五〇メートル
変更年月日　平成二十六年十月一日

名称　大瀬戸第一号導灯（後灯）
位置
所在地　福岡県北九州市（前灯の南東方約二六〇メートル）
北緯　三三―五三―二五
東経　一三〇―五四―四九
変更した事項　位置等変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　安瀬航路第一号灯浮標
位置
所在地　関門港若松区（若松洞海湾口防波堤灯台の北北西方約一・四キロメートル）
北緯　三三―五七―一一
東経　一三〇―五〇―三九
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　関門第二航路第二号灯浮標
位置
所在地　関門港若松区（台場鼻潮流信号所の西北西方約三・〇キロメートル）
北緯　三三―五七―二一
東経　一三〇―五〇―三三
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　関門航路第十号灯浮標
位置
所在地　関門港若松区（台場鼻潮流信号所の南西方約一・六キロメートル）
北緯　三三―五六―二五
東経　一三〇―五一―三七
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　関門航路第十二号灯浮標
位置
所在地　関門港若松区（台場鼻潮流信号所の南南西方約一・九キロメートル）
北緯　三三―五六―〇〇
東経　一三〇―五二―〇六
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　関門航路第十四号灯浮標
位置
所在地　関門港若松区（下関荒田防波堤灯台の西方約二・〇キロメートル）
北緯　三三―五五―三四
東経　一三〇―五二―三一
変更した事項　一　附属施設　レーダー反射器
二　本灯の下方に、数字の一四を電光表示している。
変更年月日　平成二十六年十月二日
記事　一時位置変更中のところ記事変更のうえ復旧

名称　関門航路第十六号灯浮標
位置
所在地　関門港小倉区（下関荒田防波堤灯台の南西方約一・五キロメートル）
北緯　三三―五五―〇九
東経　一三〇―五二―五五
変更した事項　附属施設　レーダー反射器
変更年月日　平成二十六年十月三日
記事　一時位置変更中のところ記事変更のうえ復旧

名称　関門航路第十八号灯浮標
位置
所在地　関門港小倉区（下関荒田防波堤灯台の南南西方約一・七キロメートル）
北緯　三三―五四―四四
東経　一三〇―五三―二〇
変更した事項　一　附属施設　レーダー反射器
二　本灯の下方に、数字の一八を電光表示している。
変更年月日　平成二十六年十月三日
記事　一時位置変更中のところ記事変更のうえ復旧

名称　関門航路西無線方位信号所
位置
所在地　関門港若松区（関門航路第十号灯浮標）
北緯　三三―五六―二五
東経　一三〇―五一―三七
変更した事項　一時位置変更中のところ復旧
変更年月日　平成二十六年十月二日

名称　来間島北西方灯標
位置
所在地　沖縄県宮古島市（来間島北端の北西方約三・二キロメートル）
北緯　二四―四五―〇七
東経　一二五―一三―〇五
変更した事項　光度
光達距離　五・〇海里
高さ　平均水面上から構造物の頂部まで五・〇メートル　平均水面上から灯火まで四・九メートル
変更年月日　平成二十六年十月二日